

今日から学校再開

今日から6月。2月27日からおよそ3ヶ月、コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言で新学期前から長期間学校が休校になりました。ようやく通常授業が再開（高専を除く）されますが、過去に経験したことのない長期間の休校、ほとんどの生徒の生活のリズムや学習のリズムに大きく影響したと思います。勉強も学校から出た課題は前学年の復習だけで、特に新一年生は小・中・高とも新学年になってから授業が行われていませんでしたから大変な状況になっていると思われまます。そんな中でも附属中学校と釧路高専では5月に入ってオンラインによる授業をスタートしました。



緊急事態宣言解除の後で問題になっているのが教育格差の問題です。文科省の4月16日時点の調査によると、休校中または休校予定の1213自体のうち、双方向型のオンライン指導をするのはわずか5%でした。ITが進んでいると思われている日本は先進国の中で教育においても企業においてもオンライン化が大幅に遅れています。オンラインでの授業が学校での先生と生徒の対面授業に取って代わるものではありません。何より家で一人で端末に向かって勉強しているだけでは勉強は出来ませんが、何よりも大事な人との触れ合いやコミュニケーションが取れません。デジタルやIT、オンラインを使った授業では「教育」の「教」は出てくることが出来ません。

今回のコロナ禍によって、職を失った人や困窮する学生が大勢います。また、倒産した企業や廃業した企業が数多くあります。今年末までにおよそ10000社が倒産するという予測もされています。いつも影響を受けるのは弱い立場にいるものです。せめて教育だけは平等で格差が無くなるようにしなければなりません。学習の遅れた分を取り戻すの大変ですが、やるしがあります。将来必ず「コロナ世代」と言われる時が来ます。その時、過去の「氷河期世代」、「ゆとり世代」の人たちが経験した大変な状況にならないように、今できることをしっかりと確実にやることです。特に大事なものは、大きな声であいさつと時間を守ることです。

体校中の塾の様子です。塾では新学年の学習内容を例年通り、教科書の内容を順調に進めることが出来ました。下段は道コン後の面談の様子です。



絵のうまい東の成田さんと北陽のバスケット部の後鳥さんが、久々に二人で顔を見せました。後鳥さんがミスを差し入れてくれました。ありがとうございます！



差し入れのミスド、みんなで頂きました！



体校中もほとんどの高校生が塾に来てしっかり勉強していました



高校生はタブレットを使って学習。新しい授業映像を1800本を用意しましたよ。成瀬姉妹、姉の京ちゃんは大卒の授業開始で北見へ！

2020年(令和2年)5月28日

保護者の皆様
釧路市教育委員会
教育長 岡部 義孝

6月1日からの市立小・中学校の再開について（お知らせ）

日頃より、釧路市の教育行政の推進にあたりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、保護者の皆様には、マスクの準備や毎朝の検温等、様々なご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、5月25日に、新型コロナウイルス特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が解除されたことを受け、北海道教育委員会から小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等の再開について通知がありました。

本市におきましては、文科省が示した地域の感染レベルでリスクが最も低い「レベル1」（新規感染者が一定程度確認されるもの、感染拡大注意都道府県の基準には達成していない。引き続き感染状況をモニタリングしながら「新しい生活様式」を徹底する地域。）であることが確認できましたので、その行動基準（身体的距離は1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る。感染リスクの高い教科活動や部活動、学校給食は十分な感染対策を行った上で実施すること。）に加えて、各学校で自校の規模に応じて感染予防対策を行い6月1日から学校を再開することといたしました。

つきましては、保護者の皆様には、引き続きお子さんの健康観察はもとより、日常的に身体的距離の確保やマスクの着用、手洗など「新しい生活様式」の実践をお願いします。

また、小学校における少年団・同好会活動や中学校の部活動については、可能な限り感染対策を行った上で、通常の活動を行うこととなりますが、子供たちの体力の回復と生活リズムの回復に重点を置くという観点から次の通り段階的に実施いたします。

小学校の少年団・同好会活動、中学校の部活動について	
6月 1日(月)	～7日(日) 生活リズムを整える期間として活動を中止とします。
8日(月)	～12日(金) 練習でコンディションを戻す期間として、活動時間を1時間以内、うち平日の1日を休みとします。
13日(土)	～14日(日) 休業日
15日(月)	～ 可能な限り感染症の予防を行った上で子供たちの健康状況を見ながら活動を再開します。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
		休塾							休塾							休塾	午前9時～午後12時						休塾	午前9時～午後12時					午後1時～午後8時
中3生の入塾受付は6月末までです！																													
ストップ 過保護・過干渉！														一日に一度はR-GROUPの確認をお願いします。															

釧路市教育委員会では6月の1週目は部活なし、2週目は1時間以内で3週目からは状況を見ながらということになっていきます。それに合わせて塾も1週目、2週目の平日は午後1時～午後8時まで、土曜日は午前9時～午後12時までとします。3週目以降については学校の状況に合わせて変更します。夏、冬休みの短縮や9月入学まで検討されるほど授業時間不足が問題になり、ほとんどの大会が中止の状況で、現時点では部活の再開より授業時間の確保の方が重要なのではと。（部活をやる意味がないということではありません）

体校期間中の家庭学習のためのオンラインのシステムはいったん中断します。今後どのように使っていくかは野澤さん、中島さん、渡邊さん、小林さんの順でした！

子どもの「ふわっとした雲のような」素質を伸ばして 遺伝から考える教育



知能や学力は遺伝の影響が大きい——。これは「行動遺伝学」の世界では当たり前のことらしい。「じゃあ無理して頑張っても意味がないのか」というとそういうことではないようだ。学力だけにとらわれず、それぞれが持っている遺伝的素質を生かせる教育、そして社会こそ求められているのだと、行動遺伝学者で教育心理学にも詳しい安藤寿康・慶応大教授は説く。

「両親は知能高いのに、なぜこの子はできない？」は間違い

——まず遺伝の基礎知識から教えてください。

◆両親の遺伝子はそのまますべて子どもに引き継がれるわけではありません。両親それぞれの遺伝子の半分ずつが引き継がれるのです。父親と母親の平均値が表れる可能性が高いとは言えます。ただ、組み合わせはさまざまなのでばらつきは当然あります。また、両親とも知能が高いとその子どもも知能が高くなると思いがちですが、むしろ逆で、世の中の平均値に近づくという特性があるので、「私たちはこんなに知能が高いのになぜこの子はできないの？」と責めるのは間違いです。

——それでも知能や学力は遺伝の影響が大きいとはどういうことですか。

◆私たちが身長、体重、知能、性格などいろんな項目について遺伝が及ぼす影響を調査した結果、知能にはおおむね5割程度、遺伝が影響していることがわかりました。一方で、性格、例えば神経質かどうか、外向的か内向的か、などは3割程度です。

——知能に関しては、残り半分は何が影響を与えるのでしょうか。

◆いろいろな環境要因の総和です。知的刺激や学習を促す環境が整っている場合は、そうではない場合に比べ、同じ遺伝的素質であっても相対的に学力は高くなります。家庭環境でいえば、親自身が日ごろから知的な行動をしている姿を子どもに見せているとか、規則正しい生活が送れている、あるいは、家の中がちらかかっていない、というようなことです。

——親の知的な行動とは？



休校期間中の体調を記した健康観察表を提出して、教室に向かう児童たち＝大阪市西区の市立九条東小で20年5月11日久保玲撮影

◆例えば、教養のある本を読んでいる、教養番組を見る、夫婦の間で「なぜだろうね」「それはこうじゃないかしら」など物事の道理を考えようとする会話をすること子どもに読み聞かせや知的な問いかけをすることも知的好奇心を刺激します。悪いことをしても頭ごなしにしかりつけるのではなく「なぜそんなことをするの」と理由を子どもに言わせて本人に気づかせたり、一緒にテレビを見ながら「なぜ、あんなのかしら」と一緒に考えようとするのもいいでしょう。

英才教育「裏切られる可能性も」大切なのは…

——幼いころから特別な塾に通わせたりする英才教育の効果はどうですか。

◆それによって将来、知能が伸びると信じているとすれば裏切られる可能性が高いでしょう。これまでの海外の研究でも早くから訓練することの効果は見いだされていません。逆に周りが躍起になってコントロールしすぎることによって子どもの自発的好奇心がそがれてしまう恐れがあります。

——勉強の「やる気」も遺伝の影響があるのですか。

◆あります。おおむね4割程度とされています。しかし、その子どもの遺伝的素質にぴったり合った先生との出会いがやる気を生み、成績が伸びることもあります。いわゆる「ビリギャル」(成績が学校でビリだった生徒がある先生と出会い猛勉強して有名私大に合格した実話)効果ですね。

——これほど遺伝の影響が大きになると、目の前の子どもに何をすればいいのでしょうか。

◆学校の成績がいいとか、テストの点数が高い、とかというのはその子どもが持っている能力の一つにすぎません。本来、人間が持っている能力は多種多様なのですが、社会的には、学校のテストの点数がフォーカスされるため、その部分の遺伝的な差が顕在化しているのです。学校のテストは学校の先生が作ります。それに答える能力に、全員がマッチするとは限りません。

それぞれが持っている遺伝的な素質は子どもの時はふわっとして形がない、いわば雲のようなものです。それが、さまざまな経験を通して、思春期が始まる12歳ごろから20歳ごろまでに形が見えてくる。それが人によってはスケートやらせてみたら才能があったという形ではっきり表れてくることもある。大切なのは何か心にひっかかったものに対して適切な方向付けをしてあげることだ

と思います。

——具体的には。

◆例えば、歴史の中でも特に縄文土器に関心を引かれるなど、ピンポイントで面



再開した小学校の黒板には「きょうから学校ははじまります!」の文字が児童たちを迎えた＝長崎市の諏訪小で5月11日 徳野仁子撮影

白いと思う瞬間があったとします。それで縄文時代について自分でいろいろ調べたり、ものすごく勉強したりする。でも今の一般的な入試では、縄文時代の知識だけではだめで、歴史全体の流れや専門用語、年号を正確に覚えておかないといけない。それで歴史を研究する道を諦めてしまう子どももいると思います。せっかく心の中に芽生えたものがそこでついでしてしまうのはもったいない。あらゆる能力が遺伝することを認めつつ、多彩な才能を評価する文化、社会を作っていくことが必要だと思います。そうすれば遺伝的な素質が発現する可能性が高まります。

IQは「遺伝以外からの影響も」

——遺伝が知能などに影響しているかはどうやって調べるのですか。

◆一卵性双生児と二卵性双生児を比較します。双生児法と呼ばれています。例えば、一卵性双生児の2人のIQを比べてその相関関係をみる。二卵性双生児でも調べる。それぞれ、相関係数(どれだけ似ているかを示す数値)を出してみる。相関係数が1なら完全一致です。IQの場合、一卵性は0.73、二卵性は0.46なので一卵性の方が似ていることが分かります。

——そこから遺伝の影響の有無がなぜ分かるのですか。

◆かぎとなるのが遺伝子の共有率です。一卵性双生児は遺伝子が全く同じなので共有率は100%。一方、二卵性の場合には遺伝子レベルが普通のきょうだいと同程度なので共有している遺伝子は半分程度、約50%です。もしIQが遺伝の影響だけを受けているのなら二卵性の相関係数は一卵性(0.73)の半分の0.36程度になるはずですが、実際はそれよりやや高い。つまり、遺伝以外に影響を及ぼしているものがあると考えられます。ちなみに、指紋の線の数の相関係数を調べると、一卵性は0.98、二卵性は0.49で半分、体重もそれに近い結果です。つまり遺伝の影響が極めて大きいということになります。【聞き手・三木陽介】

毎日新聞 2020年5月18日



日本人は「休校長期化」の深刻さをわかってない 再開も遠隔教育もままたまならず格差が一段と拡大

北川 達夫：星槎大学客員教授

いま教育が危機に瀕している。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、学校の物理的機能を停止させた。3月2日から、全国の9割以上の小学校、中学校、高等学校など(以下「学校」とする)が一斉に休校した。

連休明けから、全国の1割程度の学校が再開した。文部科学省によれば、9割以上の学校が6月1日の再開を予定しているという。とはいえ、すでに2~3カ月分の授業が失われた。感染が大きく広がった地域では、学校を再開しても、すぐには通常授業に戻れない。ひとたび集団感染が起これば、再び休校に追い込まれかねない。いまだ先行きの見えない状況なのである。

事態に対処するため、文部科学省は学習の遅れを複数年で解消する方針を発表した。つまり、今の学年で学び切れなかったことを、次の学年に持ち越すということ。要するに、全国規模の学習の遅れは必至ということだ。

日本の教育の弱点

学校の物理的機能が低下した現状では、いわゆる「遠隔教育」に頼らざるをえない。ところが、遠隔教育は、現在の日本の教育の弱点である。教育のICT化が遅れているため、ごく一部の学校しかオンライン授業が実施できない。多くの学校では、学習プリントを宿題として配布・回収するしかないのだ。

OECD(経済協力開発機構)の2018年の調査によれば、日本の学校のICT機器使用頻度は、OECD加盟国中で最下位。教師のICT機器を使いこなす技能は、調査参加国77カ国で最下位。「生徒が学習に使えるICT機器があるか」「インターネット接続があるか」といった調査項目についても、軒並みOECD平均を下回っている。(OECD, "Pisa 2018 Results Where All Students Can Succeed", Organization for Economic 2020)

学校再開もままたまならず、遠隔教育もままたまならない。コロナの影響は世界各国の教育に及んでいるが、その影響下での教育については、日本は明らかに不利な立場にある。それが日本の現実なのである。

2020.05.23 東洋経済